

新潟県立中央病院医誌投稿規定

1. 資 格：原則として投稿者は新潟県立中央病院（以下、中央病院）職員に限るが、職員以外からの論文についても審査の上掲載できる。
2. 掲載論文：本学会誌の論文の種別は原著、症例報告、総説、解説・診断、短報、読者の声、私の工夫、および図書・医誌部会が認めたものに限る。投稿論文は中央病院の発展に寄与しうるもので、他誌に発表されていないものに限る。
3. 執筆要項：用語は原則として和文とする。著者名は直接論文に携わった者に限定する。

(1) 原稿の書き方

- a) 原稿はワープロを用い、A4縦長用紙に横書きし、1行30字で30行を1枚におさめる。常用漢字、現代かなづかいを用いる。ただし、固有名詞や一般に用いられている学術用語はその限りではない。
- b) 度量衡単位はcm、mm、 μm 、 cm^2 、ml、l、g、mgなどCGS単位を用いる。
- c) 外国人名、適当な和名のない薬品名、器具および機械名、または疾患名、学術的表現、科学用語については原語を用いる。大文字は固有名詞およびドイツ語の名詞の頭文字に限る。
- d) 専門用語は各用語集に準拠すること。また、その略語を用いても良いが、はじめに完全な用語を書き、以下に略語を用いることを明らかにする。

(2) 原稿の様式、および枚数制限

a) 原稿の構成：

和文の題名、所属、著者名、内容抄録、索引用語（key words）、本文、文献、写真、図、表の順とする。原稿には通し頁番号をふる。1枚目には和文の題名、所属、著者名のほかに、論文の種別（原著、症例報告、短報など）と別冊請求先を明記する。2枚目（ないし3枚目）には内容抄録、索引用語を記載する。本文は内容抄録とは別に始める。

なお標題の英訳及びローマ字つづりの著者名、所属の英文名を添付する。

b) 内容抄録：

原著、症例報告などは内容抄録を500字以内にまとめ、原則として以下のような小見出しをつける。原著の小見出しは、目的、方法、成績、結論とする。症例報告では、背景、症例、結論とする。総説、解説・診断では論文の内容に応じて適宜設定する。なお、短報、読者の声、私の工夫は内容抄録を付けない。

c) 索引用語：

論文の内容を暗示する単語（Key words）を5語以内で表示する。原則として、第1語は対象、第2語は方法、第3語以下は内容を暗示する単語とする。

key words例：

- ・肺穿刺吸引細胞診—カルチノイド4例の細胞像と組織像—
Lung-Aspiration-Carcinoid-Morphology
- ・乳腺癌についての1考察
Breast cancer-Morphology-Review

d) 文 献：

主要のものに限る。次の形式をまもり、引用順に並べる。文献表記はバンクーバー・スタイルに、誌名略記は日本医学図書館協会編：日本医学雑誌略名表、およびIndex Medicusに準ずる。

[雑誌の場合] 著者名 (和名はフルネームで、欧文名は姓のみをフルスペル、その他はイニシャルのみで6名まで表記し、6名をこえる場合はその後を“・他”、“et al”と略記する)。標題 (フルタイトルを記載)。雑誌名 発行年 (西暦) ; 巻 : 頁 - 頁。

[単行本の場合] 著者名、標題、発行地 : 発行所、発行年 (西暦)。なお、引用が単行本の一部である場合には標題の次に編者名、単行本の標題を記し、発行年の後に : 頁 - 頁。を記載する。

[Webページの場合] 著者名 (分かれば)。“Webページの題名”。Webサイトの名称、入手先URL、(参照日付) とし、数年間はデータを保存する。

e) 原著、総説、解説・診断など :

原著の本文は原則として、緒言、方法・材料、結果、考察、結語を簡潔に記載し、本文、文献を含め原稿用紙40枚以内とする。図・表 (写真を含まず) は、14×21cmを限度とし10枚以内とする。総説、解説・診断も原則として原著に準じた枚数制限とする。

f) 症例報告 :

本文は原則として、緒言、症例、臨床経過、細胞所見、病理所見、考察などを簡潔に記載し、文献を含め原稿用紙15枚以内とする。図・表 (写真を含まず) は14×21cmを限度とし5枚以内とする。

g) 短 報 :

本文は緒言、症例、臨床経過、細胞所見、病理所見、考察などを簡潔に書き、文献は重要なもののみ3編までとする。写真は2枚以内 (組合わせは各々2枚以内)、図表は計1枚までとし、本文と文献を合わせ、400字詰め原稿用紙4枚程度までとする。

h) 読者の声 :

学術論文に該当しないもので、本誌掲載論文に関する意見、本会の運営や活動に関する意見などを投稿する。表題、著者名、文献を含め400字詰め原稿用紙2枚以内とし、原則として写真、図、表を用いることはできない。

i) 私の工夫 :

治療、診断、処方、技術に関する、ちょっとした工夫、あるいは知っていると便利な情報の提供を目的とする。表題、著者名、文献を含め400字詰め原稿用紙4枚以内、写真、図、表は1枚以内とする。

j) 図、表 :

図、表は図1 (英文論文の場合はFig.1)、表1 (英文論文の場合はTable1) などのようにそれぞれの番号をつけ [顕微鏡写真や肉眼写真などは図 (英文論文の場合はFig.) とする)、簡単なタイトルと説明を付記して、まとめて添付する。

本文中には図、表の挿入すべき位置を明示する。

4. その他

- (1) 論文の審査 : 投稿論文は図書・医誌部会の審査により採否を決定する。審査にあたっては査読制をとる。査読は図書・医誌部会から、依頼する。
- (2) 掲載料は無料だが、別冊については実費印刷とする。
- (3) 発行後の原稿は原則として返却しない。
- (4) 本誌掲載論文の著作権、複製権および公衆送信権 (送信可能化権を含む) に係る権利等は、新潟県立中央病院に帰属する。

附則 新潟県立中央病院医誌投稿規定は、2017年6月22日より施行する。

2017年9月7日一部改正

2018年2月8日一部改正

2019年9月3日一部改正

2020年10月28日一部改正

2023年12月22日一部改正

2024年7月12日一部改正